

第156回東北地方交通審議会
船員部会議事要録

令和3年10月22日
東北地方交通審議会
船員部会事務局

東北地方交通審議会 第156回船員部会

日 時 令和3年10月22日(金) 13:30～

場 所 仙台第4合同庁舎 4階会議室

出席者 公益委員 : 高橋(真)部会長、増田部会長代理(欠席)

豊田委員、佐々木委員

労働者委員 : 鈴木委員、高橋(雅)委員、奈良委員

使用者委員 : 増富委員、平岡委員、勝倉委員

運輸局 : 佐藤海事振興部長、今泉海事振興部次長

菊池船員労働環境・海技資格課長

上村船員労政課長、鈴木専門官、鈴木労政係長

1. 開 会

2. 議 題

(1) 管内の雇用等の状況について

(2) 情報提供について

(3) その他

3. 閉 会

(資料)

資料1 船員職業安定業務取扱状況説明資料(8月分)

資料2 新規求人・求職数(東北管内:3年対比)

資料3 有効求人・求職数(東北管内:3年対比)

資料4 新規求人・求職数(全国)

資料5 有効求人・求職数(全国)

資料6 有効求人倍率(東北管内)

資料7 有効求人倍率(全国)

資料8 最低賃金審議スケジュール

【今泉海事振興部次長】

只今から第156回船員部会を開催させていただきます。

議事に入ります前に、10月1日付で東北運輸局に人事異動がございました。海事振興部船員労政課労政係長が高澤から鈴木に変更となりました。

(鈴木係長 挨拶)

【今泉海事振興部次長】

人事異動につきましては以上でございます。

【第156回船員部会の成立状況について報告】

【配付資料確認】

◎議 事

(1) 管内の雇用等の状況について

【高橋（真）部会長】

それでは、早速議事に入りたいと思います。

お手元にあります議事次第の「議題（1）管内の雇用等の状況について」、事務局から報告をお願いします。

[上村船員労政課長から資料1～7に基づき説明]

【高橋（真）部会長】

ありがとうございました。

ただいまの報告内容について、何かご意見、ご質問ありますでしょうか。

(「質問お願いします」の声あり) どうぞ、奈良委員。

【奈良労働者委員】

資料6と資料7の説明がありましたが、今年の6月以降、漁船の求人倍率がちょっと高くなってきて、それは全国平均も同じですけども、何が要因でしょうか。

例えばサンマの求人が増えたとか、その辺の要因を教えてください。

【高橋（真） 部会長】

分かりますか。

【上村船員労政課長】

東北管内につきましてはマグロ関係で求人が増えていることが一つの要因になっております。全国の傾向につきましては、次回の部会で報告します。

【高橋（真） 部会長】

次回の部会で報告をお願いします。

そのほかございますか。

それでは、ないようですのでご了承いただいたものといたします。

次に、委員の皆様からの情報提供をお願いします。

初めに、労働者委員から情報提供をお願いします。高橋委員、お願いします。

【高橋（雅） 労働者委員】

第2回全国内航鋼船運航送業最低賃金専門部会が、10月18日、2回目が開催されました。職員A、職員B、部員A、部員B、一律で上がりまして、職員Aが25万750円、職員Bが23万4,300円、部員Aが19万2,150円、部員Bが18万2,850円という金額が確認されております。

また、全国海上旅客運送業最低賃金専門部会も2回目が10月20日に開催されて、こちらの職員、事務部職員、部員とも550円引き上げで、職員で24万7,350円、事務部職員で19万3,250円、部員で18万5,900円という金額が確認されております。

それから、10月18日に神戸漁業（沖合底びき網）最低賃金専門部会が開催されまして、こちらは改定額が4,000円、20万5,500円という金額が確認されております。この4,000円という金額は使用者側である船主さんから、若い人材を確保するためには賃金を上げなくてはいけないということと、現在、技能実習生を雇っているのですが、やはり国際的な問題で賃金の差がありますので、賃金の差を縮める意味合いもあって船主さんのほうからの提案で、1回で決まったということ

す。

それから、10月19日に中国漁業、沖合と大中型まき網、10月15日には、内航鋼船の1回目が開催されております。あと、10月20日に関東内航鋼船運航業最低賃金、こちらも1回目が開催されておりました、いずれの3件ともまだ金額は確認されておられません。

【高橋（真） 部会長】

ありがとうございます

ほかにありますか。奈良委員、ありますか。

【奈良労働者委員】

1点、サンマ船の状況ですけども、8月の後半から始まって、これまでの累計では昨年と比較すると5割程度増えておりますが、漁獲量としては去年の場合は9月までほとんど取れなくて、10月から一気に漁獲量が増加したので、昨年の10月の単月と比較すると、昨年よりも少し水揚げのペースは低いような状況になっております。

以上です。

【高橋（真） 部会長】

ありがとうございます。

それでは、労働者委員からほかにありますか。

それでは、使用者委員から情報提供をお願いします。勝倉委員、お願いします。

【勝倉使用者委員】

先ほどの有効求人倍率が結構右肩上がりに漁船のほうが上がったというのは、やはり今お話があったように、各地で使用者のほうから賃上げの提案があって一発で決まったという話もあるように、気仙沼でも新しく改正に向けて動きを見せています。今のところ具体的な折衝には至っておりません。

それで、実際に今気仙沼では近海マグロ漁船の新造船が3隻シリーズで建造しており、現在、2隻目が間もなく出来上がるという状況ですが、なかなか乗組員

不足が解消されていないというか、若い船員の育成が進んでいない状況であるとともに、これから乗組員の高齢化も進んでいきますので、このことが今後の大きな課題で、実際に、今年の7月で1隻が運航を断念したという船も出てきております。遠洋のマグロ漁船については、若い船員の育成というのを継続して取り組んでいて、徐々に成果は見えてきておりますが、今地元では、近海マグロ漁船の職員不足と若手船員の育成の困難さが大きな問題となっているところです。

【高橋（真） 部会長】

ありがとうございます。遠洋よりも近海の船員希望者が少ないということはどういうことですか。

【勝倉使用者委員】

私は、近海のマグロ漁船に携わっているわけじゃないので、原因はちょっと分からないのですが、あらゆることを改革しないと船員不足は解消しないのではないかと思います。

【高橋（真） 部会長】

分かりました。

労働者委員のほうはどうですか。遠洋と近海の違いなのか、あるいはもともと船員不足ということなのか。

【高橋（雅） 労働者委員】

近海は乗組員が14か15人くらいですけども、出航して1か月くらいで帰港しますが、その操業が労働時間からすると遠洋と同じような労働時間になるわけです。それを15から16人で作業するわけですから、ハードと言えばハードですね。

【高橋（真） 部会長】

仕事の中身がきついということ。

分かりました、ありがとうございます。

次に平岡委員お願いします。

【平岡使用者委員】

6月25日の部会で、内航船員の新型コロナワクチン接種について、3か月乗船、1か月休暇といった特殊な就労パターンである内航船員が1か月の休暇中に2回のワクチン接種をすることは困難であることを申し上げました。

9月上旬に国土交通省と厚生労働省が、日本人船員へのワクチン接種の円滑化に向け、船員の住所地以外の寄港地での接種も可能と地方自治体に周知し、接種円滑化に配慮するよう地方自治体へ要請していただきました。その結果、10月19日現在、全国117の地方自治体で船員への円滑接種に協力を表明していただきました。おかげで、内航船員の2回目接種率は、8月前半で1割から2割だったのが、3割から4割と大幅に改善いたしました。さらに円滑接種に協力いただける地方自治体が増えて、船員の休暇が一巡すれば、国民の平均接種率に近づくのではないかと思います。

【高橋（真） 部会長】

分かりました。自治体が行っている一般接種率は5割以上なので、そういう意味では、4割というと少ない印象があります。

【平岡使用者委員】

船員の場合は3か月乗って1か月休暇ですから、4か月して初めて船員の休暇が一巡するというのもありますので、もう少し時間がかかると思います。

【高橋（真） 部会長】

ありがとうございます。（「今のワクチンの件についていいですか」の声あり）どうぞ。

【勝倉使用者委員】

内航船の状況について報告がありましたが、遠洋マグロ漁船は、今年3月、4月以降にワクチンの接種が開始された時には、もう既に出航している船とか出航間際の船がたくさんあって、実際にはワクチンを2回接種できたのはほんの一部

です。全体の総数は把握していませんけども、もしかすると1割とか2割とか3割とか、そのぐらいなのかもしれません。それで、各自治体では今週末に集団接種が終了というタイミングですが、気仙沼市においては帰港、帰国する乗組員を対象に医療機関等において個別接種により順次対応していくことを確認しています。

【高橋（真） 部会長】

分かりました、ありがとうございます。

そのほかございますか。（「今のワクチンの件なんですけども」の声あり）

【高橋（雅） 労働者委員】

宮城県の石巻と女川では船員に対する優遇的な接種を行っております。

【高橋（真） 部会長】

そうですか、分かりました、ありがとうございます。

【鈴木労働者委員】

八戸では、大中型まき網を含め日本全国の船が八戸に寄港して2回のワクチンを接種してます。先々週ぐらいで2回目がほとんど終わりました。

【高橋（真） 部会長】

そうですか。分かりました。

【勝倉使用者委員】

今の優遇というのは、外国人船員に対してもですか。

【鈴木労働者委員】

技能実習生である外国人にはワクチンを接種してます。

【勝倉使用者委員】

接種券がある人ということですか。

【鈴木労働者委員】

そうです。日本側に住民票や、保険に加入している人が対象です。

【高橋（真） 部会長】

分かりました、ありがとうございました。

それでは、ほかにではないようですので、議題3の「その他」に入ります。

資料8について事務局から説明をお願いします。

[今泉海事振興部次長から資料8に基づき説明]

【高橋（真） 部会長】

今の最賃のスケジュールについて、何かご意見、ご質問ありますでしょうか。
よろしいですか。

ありがとうございました。

そのほか委員の方々から何かご意見、ご質問ありますでしょうか。

では、ないようですので、本日の議事は終了となります。

次回の船員部会は11月26日金曜日の13時30分から、会場はここ、4階会議室で
開催します。

◎閉 会